

## 「山梨中銀SDGsファンド」による投資案件を紹介します

### ～タブレット端末を活用したPOSレジを開発・提供する企業への投資～

「山梨中銀 SDGs ファンド」（正式名称：山梨中銀 SDGs 投資事業有限責任組合。以下「当ファンド」といいます。無限責任組合員：山梨中銀経営コンサルティング株式会社）は、株式会社ユビレジ（東京都渋谷区、代表取締役 木戸 啓太）に対する投資を行いましたので、お知らせいたします。

なお、本投資は当ファンドの第1号案件となります。

#### 1. 投資内容

- (1) 投資日 2020年3月6日
- (2) 投資形態 第三者割当増資の引受

#### 2. 株式会社ユビレジの概要

- (1) 設立年月 2009年9月
- (2) 資本金 605百万円（本件増資後）
- (3) 所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目59番4号クエストコート原宿
- (4) 代表者 木戸 啓太
- (5) 事業内容 iPadを活用したSaaS型POSレジの開発・提供

同社はタブレット端末iPadを活用したPOSレジ「ユビレジ」を開発・提供しているベンチャー企業です。

同社は急速に普及が進んでいるタブレットPOSレジ市場の先駆者であり、世界で初めてiPadを活用したレジの「ユビレジ」を2010年にリリースしました。

同社の提供する「ユビレジ」は、レジとしての機能だけでなく、売上分析、顧客管理、複数店舗管理等の店舗経営に役立つ機能を備えており、中小店舗における経営の間接的な手間を軽減し、生産性の向上に貢献する社会的意義を有しているサービスです。登録店舗数は全国で30,000店を超えており、飲食業、小売業、美容業等の様々な業種で幅広く利用されています。

タブレットPOSレジ市場は、POSレジの機能を低コストで使用できること、普及が進むキャッシュレス決済との親和性が高いこと等により、更なる拡大が見込まれます。その中でも、「ユビレジ」は誰でも簡単に操作できる使いやすさ、導入前後の充実したサポート、会計ソフトとの柔軟なシステム連携等の特徴を有しており、「ユビレジ」

を導入する店舗は今後も増加していくことが期待されます。

当ファンドは、「SDGs の 17 の目標」に準じた企業価値向上および競争力強化に向けた取組みを行う事業者を支援し、地域社会の持続的発展につなげることを目的としております。同社は世界で初めて iPad を活用したレジをリリースするなど、先見性と行動力に優れており、また、同社の事業は革新的な技術によって中小店舗の持続的な発展に寄与するものであり、SDGs の目標「8.働きがいも経済成長も」及び「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」に大きく貢献することから、同社への投資を決定しました。

同社の第三者割当増資を引き受けることで資金面での支援を行うとともに、今後は同社の成長発展に向けて積極的に各種ハンズオン支援を行ってまいります。

#### <当ファンドについて>

当ファンドは、山梨中央銀行グループの出資により設立した投資ファンドです。地域の将来を担う事業者や「SDGs の 17 の目標」に準じた企業価値向上および競争力強化に向けた取組みを行う事業者を支援することで、地域産業力の強化や雇用の維持・拡大など、地域社会の持続的発展につなげることを目的として、起業・創業から成長、経営改善・再生、事業承継に至るまで、あらゆるライフステージにある事業者への投資を行います。

また、当ファンドは、投資先への資金供給だけでなく、山梨中央銀行グループが有する販路開拓や経営管理等の各種支援ノウハウを活用したコンサルティング・経営改善支援を併せて行うことにより、投資先の成長・発展や経営改善・事業再生等の効率的な支援を実施いたします。

以 上